

令和6年
2024年

11月28日
木曜日

第11605号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



全農、なかやまきんに君が和牛応援団長に就任……P6

▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、エスフーズ
巻本隆大取締役輸入食肉事業部長……P2～3

▶ [牛・豚・鶏肉需給予測] 12月牛肉生産は
前年比8・3%増……P3

▶ 令和6年度農林水産関係補正予算、額ありを提
示 - 自民党……P4

▶ フレッシュネスバーガー、日本ハム「グラフォア」を
使った「神戸牛グラフォアバーガー」を発売……P5

▶ 全農、和牛消費喚起キャンペーンを展開
なかやまきんに君が和牛応援団長に就任……P6

▶ 全畜連が黒毛和種枝肉共進会、最優秀賞に田村
畜産、森ファーム……P7

▶ 平田牧場、福光屋コラボ企画 大吟醸酒粕を使用
した味噌漬け発売……P7

▶ 大阪市場で長野県畜産共進会を開催、埴生ミ
ートパッカーが最優秀賞牛を購入……P8

▶ [POSランク10月ソーセージ製品]「シャウエッセ
ン」が首位……P8

▶ [資料]ソーセージ製品10月 POS売れ筋品目 ベ
ストランキング月次……P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]27日……P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]27日……P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
エスフーズ巻本隆大取締役輸入食肉事業
部長

…詳細はP2

全農、和牛消費喚起キャンペーンを展開
なかやまきんに君が和牛応援団長に就任

…詳細はP6

国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第49回 **2025食肉産業展**
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.

開催テーマ **肉のサステナビリティとイノベーション**

会期 **2025年3月11日(火)⇒14日(金)**

会場 **東京ビッグサイト 東7ホール**

主催 ● 食肉産業展実行委員会
後援 ● 農林水産省、厚生労働省ほか

アジア最大級の食品・飲料総合展示会
The 50th International Food and Beverage Exhibition

FOODEX JAPAN 2025

同時開催

食肉産業展HPはコチラ ▶ <https://www.shokuniku-sangyoten.jp> 食肉産業展東京事務局 ☎03-3663-2011

大手豚肉サプライヤーインタビュー エスフーズ荻本隆大取締役輸入食肉事業部長

—2023年度の販売実績と24年度の計画を教えてください。

輸入ポークの23年度実績は数量が前期比120%、金額118%となりました。24年度は数量105%、売上高105%を計画。現状はほぼ計画どおり推移しています。国産豚は24年度が数量105%、金額は108%で推移しています。25年度は数量105%、金額110%を目標に農場生産数を上げています。

輸入ポークはコロナ禍以降、供給量が安定していない中、主力である米国、カナダ、メキシコ各国パッカーと協業し、物量の確保と流通のコントロールに注力しました。その結果、量販店などの大口取引先に対しても安定した供給が可能となったことで、量販店向けの販売が堅調でした。

国産豚については、夏場の高騰相場は需要と供給のバランスが大きく乖離^{かいり}しており、温暖化の影響で近年、特に夏場の高温で豚肉の出荷が不安定になっているように感じます。相場形成を変化させていかなければ、今後、生産者および販売メーカーも疲弊していくように感じています。

—取扱ブランドを教えてください。

輸入ポークでは、メキシコ・ケケン社の「キニトン」「カリブの煌めき三元豚」、米国・タイソンフーズ社「ホークアイ」に特に注力しました。それぞれのブランドポークをご提案するほか、産地を固定してご提案したり、あるいはさまざまな産地・ブランドをご用意して対応するなど、ケースに応じて固定観念にとらわれない柔軟な販売を心がけました。

特に大きかったのがメキシコ・ケケン社が大型の工場を新設したことで、工場内での統一規格により生産から加工、流通までのライン安定化を実現。これにより、統一性のある品質で供給することが可能となり、販売拡大に寄与しました。

国産では、母豚8千頭、年間22万頭の生産規模を誇る当社の北海道産豚肉ブランド「ゆめの大地」は、一般的なランドレース種×大ヨークシャー種の母豚にデュロック種×バークシャー種を掛け合わせて肉質の向上を図っています。

発生する堆肥を活用して野菜を作るなど持続可能



な循環型農業に取り組んでいますが、23年度からは飼料高騰もあり、配合飼料の一部に堆肥を肥料にして生産した子実コーンを導入しています。

24年は1200tを置き換えており、今後さらに拡大予定です。これは次の世代へ事業を引き継ぐ大きな意義と、海外への販売戦略の大きな武器とすべく、時間をかけながら展開していきます。

グループの肉豚処理加工施設(株)日高食肉センターでは、第2カット工場を竣工し、昨年5月から稼働を開始しました。これまでの1日当たりのカット処理能力700頭に加えて、第2カット工場は800頭の処理能力を有します。練度を高め、より良い商品をお届けできるよう努めます。

—ゆめの大地の海外への輸出状況は。

引き続き、日本産豚肉の輸出は北海道産のみですので、今まで以上に農場の防疫体制の強化に取り組むつつ、製造数量を増やしていきます。

—食肉加工などの取り組みはありますか。

輸入ポークでは、今期は量販店の精肉部門だけでなく、総菜部門への提案も強化しており、新たにトンカツ用原料の製造をスタート。当社はタンブリングやインジェクション、味付けなど、副次的な加工も得意としているため、さまざまな技術を用いて顧客の要望にお応えします。

現在はCCロインを活用したロースカツの開発を進めていますが、ヒレを使った商品開発も進めていきたいです。このように精肉部門だけでなく、総菜部門への提案も進めていきたいです。

そのほか豚レバーやタン、直腸(レクタム)を使った加工品の製造について、国産を中心に取り組んで

いますが、輸入内臓についても、他国との競争が弱まってきていることから、活用したいと考えています。

かつてBSE国内発生の際に、豚肉関連の商品開発を強化していましたので、得意としている加工にさらに力を入れていきたいです。

国産豚では、輸出での副産物・副生物も順調に増

えています。日高食肉センターは当初から副産物・副生物の処理に力を入れており、鮮度管理、処理スピードを強化することで、より味の良い商品に仕上げられています。

(取材内容は、同社の出田純治・取締役国内ポーク事業部長へのきき取りも含む)

【牛・豚・鶏肉需給予測】12月牛肉生産は前年比8・3%増

農畜産業振興機構は27日、11月、12月の牛・豚・鶏肉需給予測を発表した。それによると、牛肉の生産量は11月が3万5千t(前年同月並み)、12月が3万4200t(8・3%増)と予測。牛肉の品種別出荷頭数をみると、11月は和牛が5万4100頭、交雑種が2万7100頭、乳用種が2万6400頭、12月は和牛が5万3500頭、交雑種が2万6300頭、乳用種が2万4300頭とそれぞれ予測している。また、輸入量は11月が3万7600t(12・5%増)、12月が3万7千t(2・5%増)とそれぞれ予測。内訳をみると、11月は冷蔵品が1万5千t(3・9%増)、冷凍品が2万2600t(19・3%増)。12月は冷蔵品が1万4800t(1・4%減)、冷凍品が2万2200t(5・4%増)と見込んでいる。冷蔵品は、国内需要の低迷により低調に推移する中、11月は主要輸入先である豪州産輸入量の増加が見込まれることなどから、前年同月をやや上回る一方、12月は、前年同月をわずかに下回る予測。冷凍品は、輸入品在庫量が高水準であることなどにより低調に推移する中、豪州産のうち主に加工用のひき材などに使用されるトリミングの輸入量の増加が見込まれることなどから、11月は大幅に、12月はやや、いずれも前年同月を上回ると予測している。

豚肉は、生産量は11月が7万9700t(3・6%減)、12月が8万1500t(0・4%増)の予測。輸入量は、11月が7万6200t(1・9%増)、12月が7万8200t(15・6%増)としている。冷蔵品は、為替や現地相場高の影響などにより低調に推移する中、11月予定のカナダ産の入船が12月に遅れることが見込まれること等から、11月は前年同月を大幅に下回る一方、12月は前年同月をわずかに上

回ると予測。一方、冷凍品は、価格優位性によるブラジル産輸入量増加のほか、米国産やEU産輸入量の増加も見込まれることなどから、11月、12月ともに前年同月を大幅に上回ると予測する。

また、鶏肉の生産量は、11月は14万5900t(0・6%減)、12月は15万7200t(1・2%増)の予測。輸入量は、11月が5万1100t(30・3%増)、12月が5万2600t(3・1%増)とそれぞれ増加を予測している。

牛・豚・鶏の需給予測

(単位:トン、%)

	11月		12月		
	頭数	前年比	頭数	前年比	
牛 計	108,600	99.3	105,000	107.2	
和牛	54,100	97.3	53,500	111.6	
交雑牛	27,100	110.6	26,300	113.0	
乳牛	26,400	94.5	24,300	95.4	
豚	1,433,000	96.6	1,482,000	101.4	
部分肉の需給予測					
牛肉	生産量	35,000	100.0	34,200	108.3
	輸入量	37,600	112.5	37,000	102.5
	出回り量	79,400	99.6	78,400	103.5
	月末在庫量	149,600	107.8	142,400	109.7
豚肉	生産量	79,700	96.4	81,500	100.4
	輸入量	76,200	101.9	78,200	115.6
	出回り量	164,600	99.5	165,200	102.3
	月末在庫量	214,600	105.0	209,100	109.2
鶏肉	生産量	145,900	99.4	157,200	101.2
	輸入量	51,100	130.3	52,600	103.1
	出回り量	200,200	102.2	215,800	103.8
	月末在庫量	170,100	112.7	164,000	109.9
輸入量の内訳(部分肉ベース)					
牛肉	冷蔵	15,000	103.9	14,800	98.6
	冷凍	22,600	119.3	22,200	105.4
	合計	37,600	112.5	37,000	102.5
豚肉	冷蔵	28,300	79.3	31,600	102.4
	冷凍	47,900	122.4	46,600	126.6
	合計	76,200	101.9	78,200	115.6

令和6年度農林水産関係補正予算、額ありを提示—自民党

自民党の総合農林政策調査会、農林部会合同会議が27日に党内で開催され、令和6年度農林水産関係補正予算重点事項案(額あり)について議論した。6年度補正予算においては、①新基本計画推進集中対策②物価高騰等の影響緩和対策③総合的なTPP等関連政策大綱に基づく施策の実施④持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進⑤防災・減災、国土強^{きょうじん}靱化と災害復旧等の推進—の五つを柱に据え、総額8678億円(公共事業=3917億円、非公共事業=4761億円)の予算案を示した。このうち、「和牛肉需要拡大緊急対策」に170億円、「食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業」に123億円、「畜産クラスター等による生産基盤の維持・強化」では、畜産クラスター事業等に所要額371億円、畜産生産性向上等緊急支援対策に64億円(内数)を計上している。総合農林政策調査会の宮下一郎会長は「上積み予算案となっているが、額の問題、運用の問題など、現場に則した意見をいただき、この補正予算を農業の元気につなげていきたい」と述べた。同会議で示された重点事項案は次のとおり。

【新基本計画推進集中対策】地域農業を支える食料供給基盤の強化として、新たな食料・農業・農村基本計画の着実な実施による農業の構造転換の実現に向けて、老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地を支援する「共同利用施設の再編集約・合理化」に400億円などを計上。

食料安全保障の強化に向けた構造転換対策では、「国産飼料生産・利用拡大緊急対策」に133億円。

生産者の急減に備えた生産基盤の構造転換対策のうち、農業支援サービス事業者の育成・活動の促進、就農に向けた研修資金や経営開始資金の交付、円滑な経営継承や経営発展のための機械などの導入、農業教育の高度化、就労条件改善や産地間連携等による労働力確保、女性の労働環境整備、外国人材の受入体制強化などの取り組みを支援する「次世代の担い手の確保・育成」ではスマート農業技術・サービス事業の導入加速化に100億円(内数)、新規就農者確保緊急円滑化対策等に67億円を措置。「スマート農業技術・革新的新品種の開発・供給加速化」に63億円、「スマート農業技術・サービス

事業の導入加速化」に100億円、「鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進」に55億円。国民一人ひとりの食料安全保障の確立に向けた食料システムの構造転換対策として、コスト構造や取引価格などの調査、コスト指標の活用などに関する実証、消費者等の理解醸成を図る取り組みなどを実施する「合理的な価格の形成」に6億円を計上。

【物価高騰等の影響緩和対策】物価高騰に伴い需要が低迷している状況を踏まえ、食肉事業者などが行う和牛肉の販売促進等を支援する「和牛肉需要拡大緊急対策」に170億円を措置。

【総合的なTPP等関連政策大綱】輸出5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略のうち、国内生産事業者と現地販売事業者をつなぐ新たなサプライチェーンの構築、大規模輸出産地の形成、畜産物輸出コンソーシアムによる商流構築等を支援するなど「輸出産地・事業者の育成、展開」に295億円、「オールジャパンでのマーケットイン輸出の取組強化」に63億円、国際競争力のある産地イノベーションの促進のうち、安定的な食肉供給基盤の確保や広域の生乳需給調整機能の強化などのための食肉処理施設や乳製品加工施設の再編・高度化等を支援する「食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業」に123億円、畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進のうち飼料などの生産基盤強化、新規就農の推進に必要な機械導入・施設整備、高齢の繁殖雌牛から優良な繁殖雌牛への更新、省力化に資するICT関連機械の導入等を支援する「畜産クラスター等による生産基盤の維持・強化」では、畜産クラスター事業などに所要額371億円、畜産生産性向上等緊急支援対策に64億円(内数)の予算を計上。

【持続可能な成長に向けた農林水産施策の推進】家畜伝染病予防法に基づき、殺処分をした家畜などに対する手当金や、都道府県の防疫措置等に対する負担金を交付するほか、家畜伝染病などの発生予防とまん延防止のための国内防疫体制や水際対策の強化、遠隔診療による獣医療提供体制の整備等を支援する「家畜伝染病・家畜衛生対策」に91億円を措置する。

フレッシュネスバーガー 日本ハム「グラフォア」を使った「神戸牛グラフォアバーガー」を発売

コロナイドグループの(株)フレッシュネス(横浜市、斎藤健太郎社長)が展開するハンバーガーチェーン「フレッシュネスバーガー」は、ブランド和牛バーガーシリーズから、日本ハムの鶏レバーを有効活用した新感覚の“グラフォア”を使用した「神戸牛グラフォアバーガー」(税込み1250円)を12月4日~2月4日、期間限定発売することを発表した。

同社では“世界のグルメを大人の本格バーガーに”を年間テーマに、季節ごとに期間限定バーガーを展開しており、今回のテーマは「日本」

先ごろ行われたメディア向け試食会で、同社のマーケティング本部商品部の逆井里奈商品開発部長は「販売予定期間を前に完売する年があるほど、多くの反響をいただいている本シリーズ商品に、今回はちまたで話題のグラフォアを使った商品が初登場した。フォアグラは世界三大珍味の一つとして、広く親しまれているが、近年その製造方法から、持続的な提供が難しいという課題がある。そこで日本ハムの“グラフォア”と協力し、フランス料理の定番である牛肉とフォアグラを組み合わせたロッシェニをイメージした同商品を作り上げた。程よい酸味と後を引く和風バルサミコソースと、バンズに塗ったわさび、トッピングの大葉と合わせて、和風で大人な仕上がりがながら、グラフォアの濃厚で滑らかな口溶けと神戸牛パティの組み合わせで、よりリッチな味わいが堪能できる一品となっている」と同商品の魅力を語った。

また、グラフォアを開発した日本ハム ハム・ソーセージ開発課の上野瑞城氏からは「“これまでのフォアグラの常識をひっくり返す”という願いを込めてネーミングされた本商品。開発に至った背景は主に二つ。一つはフォアグラの生産方法に多様な意見があることを知ったこと。フォアグラは現在、アニマルウェルフェアの観点から生産を禁止する国や地域が増加しており、このままではフォアグラ料理の食文化がなくなってしまうのではないかと危惧したからだ。二つ目は鶏レバーの有効活用方法を考えたこと。鶏レ

バーは一般的に夏場の方が冬場に比べ、需要が高い傾向にあり、その結果、冬場は一部は食用ではなく、レンダリング

事業として家畜の飼料に回っている現状を、食肉・加工品メーカーとして、なんとか改善できないかと考えた」と開発背景を話し「商品特長は、大きく三つ。一つ目は、焼き調理後の見た目と、滑らかな口溶け。本商品は50%を油脂が占め、鶏レバーと油脂の配合は維持しつつ、調理後に保形性と滑らかさを合わせ持つバランスが非常に繊細であり、これは当社独自の油脂の分散技術で実現できたことである。二つ目はフォアグラのような濃厚な味わい。この実現のために、豚脂や乳脂、植物油脂といった複数の脂を配合し、コクのある奥深い味わいを再現している。三つ目は調理の簡便性。現在、市場にあるフォアグラの代替品や加工品はほとんどがペースト規格で、本物のフォアグラのようにブロックのまま焼き、ステーキなどの上に乗せ食すことを想定されていない。また本物のフォアグラに関しても、下処理や個体差によって調理者の技術が問われる。その点、本商品は冷蔵庫で解凍後、フライパンに油を引かず、片面約30秒程度、合計1分ほどで焼き上がる簡単な調理方法でさまざまな料理に組み合わせられる」と特長を述べた。



全農が今年度も和牛消費喚起キャンペーンを展開 昨年に続きなかやまきんに君が和牛応援団長に就任

JA全農は11月29日(いい肉の日)から、「ちょっといい日に和牛を食べよう!」を合言葉に和牛消費喚起キャンペーンを展開する。同キャンペーンは、昨今の物価上昇による生活防衛意識の高まりや需給環境の悪化により、厳しい状況にある和牛の消費喚起を目的に、「ちょっといい日に和牛を食べよう!」というメインメッセージとともに和牛のおいしさや魅力を発信する取り組み。昨年に引き続き、なかやまきんに君を和牛応援団長に任命し、キャンペーンを通じて消費者や生産者に熱いエールを送る。

キャンペーンでは、11月27日～来年3月31日までの間、和牛応援団長であるなかやまきんに君をメインビジュアルとし、国内最大級のグルメサイトである「食べログ」とのタイアップ企画として、和牛を取り扱う店舗の検索、予約ができる特設サイトを開設し、外食における和牛消費拡大を推進する。

また、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」で11月29日～12月16日に「ちょっといい日に和牛を食べようキャンペーン」を展開。「いい肉の日」に合わせて実施するもので、各産地自慢のブランド和牛をはじめとした、対象商品約1300商品を送料無料でお得に購入できる。期間中は購入者限定で「きんに君オリジナルQUOカード」や「和牛肉」をプレゼント。また、11月29日には毎月実施している「肉の日限定セール」も開催し、1日限定で「おおいと豊後牛」や「長崎和牛」などの約280商品を特別価格で購入できる。

さらに11月～来年1月の毎月29日および2月9日に新宿駅東口アルタの大型ビジョンで和牛の焼き肉動画を放映し、和牛消費喚起メッセージ「ちょっといい日に和牛を食べよう!」を発信。インバウンドを含む多くの人に向けて和牛の喫食を想起してもらうことが狙いだ。

そのほか、全国約100軒の子ども食堂に和牛肉を提供し(12月9日発送)、子供たちに和牛のおいしさや魅力を伝え、将来の和牛ファンの創出を目指す。

キャンペーンに先立ち、27日には応援団長のなかやまきんに君(上写真左)をゲストに迎え、キャンペー



ン発表会を東京都千代田区のJAビルで開催した。発表会では、JA全農の安田忠孝代表理事専務(同右)がなかやまきんに君を和牛応援団長に任命。「年末年始に和牛を広めたい」という思



いから“和牛奉行”として登場したきんに君は、腕に書かれた桜吹雪ならぬ「和牛パワー」のメッセージをアピールしたほか、年末年始の宴会時に向けた乾杯芸などを披露した。さらにJAタウンのイメージキャラクターである「じえー太くん」(同中央)が登場し、試食用の和牛のすき焼きを届けると、きんに君は口いっばいに和牛肉を頬張り、「本当に幸せな気分になる」と絶賛。「ちょっといい日に自分へのご褒美として、そして大事な方への贈り物としても、ぜひ和牛を活用し元気になっていただきたい」と呼びかけた。

全畜連が黒毛和種枝肉共進会、最優秀賞に田村畜産、森ファーム

全国畜産農業協同組合連合会(加藤義康代表理事会長)はこのほど、農林水産祭参加行事として東京食肉市場で令和6年度(第53回)全畜連肉用牛枝肉共進会、第1部黒毛和種雌牛の部、第2部黒毛和種去勢牛の部を開催した。

全国から雌45頭、去勢69頭が出品され、審査の結果、雌牛の部で(株)田村畜産(鳥取県岩美町)、去勢牛の部で(株)森ファーム(鹿児島県鹿屋市)の出品牛がそれぞれ最優秀賞に輝いた。

雌牛の部の最優秀賞受賞牛(父「夏百合」、母の父「美国桜」)の枝肉はA5、重量462kg、ロース芯面積65cm²、バラの厚さ9・0cm。キロあたり5508円で(株)吉澤畜産が購買した。

去勢牛の部の最優秀賞受賞牛(父「秀幸福」、母の父「美国桜」)の枝肉はA5、重量646kg、ロース芯面積99cm²、バラの厚さ11・3cm。キロ当たり5001円でエスフーズ(株)が購買した。

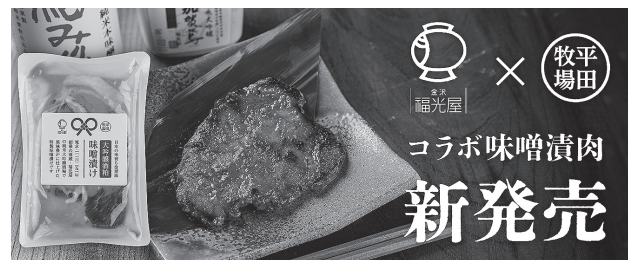
そのほかの主な結果は次のとおり。出品者(枝肉重量、格付、キロ単価、購買者)。雌牛の部[優秀賞1席]高崎ファーム(463kg、A5、3001円、中村畜産)[優秀賞2席]田村畜産(498kg、A5、4008円、アマイ)[優良賞1席]安部畜産(532kg、A5、2677円、G-7ミートテラバヤシ)[優良賞]迫田和夫(458kg、A5、2979円、日山畜産)

去勢牛の部[優秀賞1席]金子ファーム(547kg、A5、4569円、中村畜産)[優秀賞2席]高崎畜産(616kg、A5、4601円、エスフーズ(株))[優良賞1席]小形畜産(620kg、A5、3028円、ミヤミート)[優良賞]迫田裕治(613kg、A5、3370円、日山畜産)▷千葉辰美(495kg、A5、2825円、G-7ミートテラバヤシ)▷日高見牧場(596kg、A5、2856円、ミヤミート)▷神田グランドファーム(472kg、A4、2942円、ふじなわ)

平田牧場、福光屋コラボ企画 大吟醸酒粕を使用した味噌漬け発売

(株)平田牧場(山形県酒田市、新田嘉七社長)は25日から、(株)福光屋(金沢市、福光松太郎社長)とコラボレーションした「日本の米育ち金華豚 大吟醸酒粕味噌漬け」(税込み1080円)を東京ミッドタウン(東京都港区)にある両社の直営店および平田牧場オンラインショップで発売開始した。

東京ミッドタウンガレリア地下1階に店舗を構える両社による、初となるコラボレーション企画。日本の米を食べて育ったブランド豚「平田牧場金華豚」のカタ羅斯肉を、1625年(寛永2年)創業、金沢の老舗酒蔵、福光屋の「加賀鳶 純米大吟醸酒粕」と「純米本味醂 福みりん」を加えた特別仕様のみそで漬け込んだ同商品。絹のようにキメ細かな肉質が特長の「金華豚」のうまみを、酒米の最高峰・山田錦を100%使用した「加賀鳶 純米大吟醸酒粕」が醸し出す芳醇な香りと、糖類を一切添加しない「純米本味醂 福みりん」のすっきりとした香りと豊かな甘味、まるやかなコ



クが引き立てている。絶妙なバランスで両社のこだわりが凝縮された一品は、酒かすが好きな人はもちろん、苦手な人にもおいしく食べてもらえるよう程よい風味に仕上がっており、ご飯のお供としてはもちろん、酒類のつまみとしてもそのおいしさを存分に堪能できる。平田牧場オンラインショップ<https://www.hiraboku.com>



大阪市場で長野県畜産共進会を開催 殖生ミートパッカーが最優秀賞牛を購入

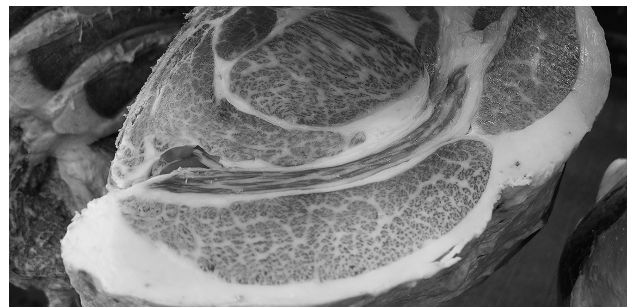
JA全農長野県本部は26日、大阪市中央卸売市場南港市場で第77回長野県畜産共進会を開催。歳末商戦に向けて県内から厳選された上質な黒毛和牛「信州プレミアム牛」46頭が出品され、厳正な審査の結果、竹淵洋平さんの出品牛が最優秀賞を獲得した。

出品枝肉46頭は全てA4以上に格付され、うち5等級は44頭。BMSNo.12の枝肉が半数以上の25頭、約9割の出品枝肉がBMSNo.10以上となるなど、年末にふさわしい非常にハイレベルな共進会となった。

全体の審査講評は、審査委員長を務めた松浦昌平長野県畜産試験場長が「今回の共進会は極めてレベルが高く、出品全頭が信州プレミアム牛肉と認定された。最優秀賞の枝肉はロース芯やバラが大きく、大変迫力のある枝肉であった。また、(素牛の県内・県外産にかかわらず)上質な枝肉がそろっていたことは、全国各地から導入した牛を高い技術で肥育した成果である」と総括した。

栄えある最優秀賞に輝いた竹淵さんが出品した去勢牛の枝肉(下写真)は、父が「福之姫」、2代祖「美国桜」、3代祖「百合白清2」の血統で枝肉重量は587kg。ロース芯面積が109cm²、バラ厚10・6cmと堂々たる^{たいく}体躯の枝肉であり、A5等級でBMSNo.12に格付された。

竹淵さんは県内で黒毛和牛約130頭を飼養する肥育農家。今回の共進会では4頭の出品牛のうち、3頭が入賞を果たす快挙を達成した。JA全農長野畜産酪農部JA中信畜産酪農営農センターの須澤晃囑託



調査役によると「竹淵さんは多くの共進会で常に上位の成績を残されている県内でもトップレベルの生産者。よく牛を観察しながら、しっかり時間をかけて飼っていて、丁寧な個体管理をしておられる」と高い肥育技術をたたえた。

枝肉競りでは、最優秀賞牛をキロあたり4307円の最高値で殖生ミートパッカー(株)が買い受けるなど、厳しい環境が続く生産者を盛り立てようと、年末の一大需要期に向けて買参者による積極的な購買が行われ、活況を呈した。最優秀賞牛以外の入賞牛出品者は次のとおり▷優秀賞 竹淵洋平(2850円、殖生ミートパッカー)、(農法)美雪ファーム樋口(3140円、エスフーズ)▷優良賞 井坪章(2899円、殖生ミートパッカー)、小林和義(2806円、丸富精肉店)、竹淵洋平(3044円、殖生ミートパッカー)

【POSランク 10月ソーセージ製品】「シャウエッセン」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した10月POS/ソーセージ製品売れ筋ランキングによると、日本ハム「シャウエッセン」(117g×2)が首位だった。

2位はプリマハム「香蕉あらびきウインナー」(90g

×2)、3位はプリマハム「香蕉あらびきウインナー大袋」(550g)、4位は伊藤ハム「グランドアルトバイエルン」(127g×2)、5位は丸大食品「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」(90g×2)だった。対象店舗1055店舗の総販売金額は12億2688万3251円。

ソーセージ製品10月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2024年10月 対象店舗数:1,055店舗 品目合計:12億2,688万3,251円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	日本ハム シャウエッセン 117g×2	186,461,935	470,899	396	15.2	12.39	96.38
2	プリマハム 香薫あらびきウインナー 90g×2	150,120,440	532,581	282	12.24	14.02	93.61
3	プリマハム 香薫あらびきウインナー大袋 550g	68,280,456	89,198	765	5.57	2.35	77.60
4	伊藤ハム グランドアルトバイエルン 127g×2	40,820,215	116,143	351	3.33	3.06	77.69
5	丸大食品 燻製屋熟成あらびきポークウインナー 90g×2	34,668,851	122,732	282	2.83	3.23	72.16
6	日本ハム シャウエッセン大袋 468g	34,346,139	45,503	755	2.8	1.2	54.24
7	米久 御殿場高原あらびきポーク 袋 220g	30,078,556	106,098	284	2.45	2.79	40.51
8	フードリエ パリッと朝食ウインナー 230g	22,985,654	82,915	277	1.87	2.18	71.78
9	伊藤ハム ポークピッツ2P 82g×2	22,628,191	66,123	342	1.84	1.74	61.87
10	日本ハム シャウエッセン夜味 98g×2	19,566,788	48,920	400	1.59	1.29	69.11
11	日本ハム 豊潤あらびきポークウインナー 90g×2	17,877,618	68,292	262	1.46	1.8	39.28
12	丸大食品 徳用ウインナー 450g	17,203,604	47,040	366	1.4	1.24	43.18
13	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 230g	16,822,296	58,662	287	1.37	1.54	37.08
14	伊藤ハム 朝のフレッシュあらびきウインナー 90g×2	15,801,292	61,266	258	1.29	1.61	53.48
15	伊藤ハム まるごと美味しいフランク 300g	10,813,707	34,000	318	0.88	0.89	61.96
16	伊藤ハム ロイヤルポールウインナー 290g	10,096,427	28,548	354	0.82	0.75	25.26
17	フードリエ 家族の定番モーニングステーキ 153g	9,623,080	34,671	278	0.78	0.91	64.92
18	伊藤ハム ポークピッツ 82g	8,867,642	42,362	209	0.72	1.12	65.87
19	シジシージャパン 断然お得あらびきポークウインナー 450g	8,816,023	15,981	552	0.72	0.42	24.21
20	日本ハム グルメイドステーキ 208g	8,704,576	23,156	376	0.71	0.61	47.66
21	プリマハム お弁当ランドタコさんウインナー 72g	8,684,780	59,418	146	0.71	1.56	75.12
22	シジシージャパン Vパックポークウインナー 280g	8,583,209	24,107	356	0.7	0.63	22.21
23	日本ハム シャウエッセン シャウスライス 3パック	8,551,181	31,694	270	0.7	0.83	75.69
24	丸大食品 串フランク 36g×10	8,496,711	20,894	407	0.69	0.55	49.57
25	日本ハム モーニングサブ 160g	7,921,341	29,123	272	0.65	0.77	64.54
26	イオントップバリュ TV 特級あらびきポークウインナー 260g	7,034,096	18,174	387	0.57	0.48	10.10
27	丸大食品 燻製屋ウインナー大袋 504g	6,805,450	8,711	781	0.55	0.23	15.82
28	伊藤ハム ポークピッツ徳用サイズ 300g	6,594,752	11,772	560	0.54	0.31	25.93
29	丸大食品 徳用赤ウインナー 180g	6,331,996	21,669	292	0.52	0.57	40.32
30	日本ハム アンティエ レモン&パセリ 150g	6,024,061	17,261	349	0.49	0.45	62.63
31	フードリエ やみつきになる辛口チョリソー 160g	5,951,020	20,507	290	0.49	0.54	58.72
32	シジシージャパン Vパック 皮なしウインナー 300g	5,794,479	18,768	309	0.47	0.49	24.21
33	日本ハム ウイニーミニ 72g	5,702,773	46,144	124	0.46	1.21	54.15
34	日本ハム シャウエッセン 156g	5,372,604	18,692	287	0.44	0.49	3.91
35	信州ハム グリーンマーク粗挽ウインナー 100g	5,353,743	19,401	276	0.44	0.51	48.62
36	日本ハム シャウエッセン4種のチーズ 94g×2	5,310,499	13,704	388	0.43	0.36	41.18
37	銀河フーズ チーズでるソーセージ 63g×2	5,298,732	17,315	306	0.43	0.46	19.73
38	プリマハム サラダにちょうどいいねピアソーセージ80g	5,239,634	26,737	196	0.43	0.7	66.83
39	フードリエ やみつきになるレモン&パセリウインナー	4,948,911	17,226	287	0.4	0.45	57.67
40	丸大食品 味の主演ポロニアソーセージ 280g	4,856,354	13,757	353	0.4	0.36	47.09
41	日本ハム ウイニーミニ 72g×2	4,680,719	17,506	267	0.38	0.46	34.89
42	プリマハム ジョンソンヴィル オリジナルスモーク 360g	4,597,628	6,675	689	0.37	0.18	49.48
43	フードリエ あらびきソーセージステーキ 380g	4,593,038	12,009	382	0.37	0.32	31.94
44	伊藤ハム チーズイン 82g×2	4,420,617	14,114	313	0.36	0.37	24.02
45	日本ハム シャウエッセン大袋ジッパー付き 468g	4,318,886	5,550	778	0.35	0.15	6.96
46	丸正フーズ えびの高原 ロングサイズウインナー 220g	4,273,102	15,657	273	0.35	0.41	4.67
47	日本ハム 切れ目入赤ウインナー 50g	4,193,008	38,693	108	0.34	1.02	36.51
48	南日本ハム 薫の詩ウインナー 162g	4,180,550	17,247	242	0.34	0.45	2.86
49	伊藤ハム チーズイン 82g	4,011,714	20,457	196	0.33	0.54	53.29
50	伊藤ハム 特級あらびきポークウインナー 610g	3,980,957	5,875	678	0.32	0.15	12.87

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月27日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,109	2,575	2,292	-	-
		安値	2,377	2,311	2,216	-	-
		平均	2,692	2,422	2,259	-	-
	103頭	頭数	82	19	2	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,268	2,596	2,339	-	-
		安値	2,333	2,241	2,144	-	-
		平均	2,624	2,406	2,253	-	-
	200頭	頭数	132	57	11	-	-
去 B	高値	-	-	1,855	-	-	
	安値	-	-	1,855	-	-	
	平均	-	-	1,855	-	-	
1頭	頭数	-	-	1	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B 1頭	平均	-	-	1,103	-	
	去 C 2頭	平均	-	-	976	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,948	1,733	1,560	1,361	-
		頭数	1	8	11	6	-
	雌 C	平均	-	1,511	-	1,243	-
		頭数	-	1	-	1	-
	去 B	平均	-	1,812	1,583	1,459	-
頭数		-	1	11	4	-	
去 C	平均	-	-	1,432	-	-	
1頭	頭数	-	-	1	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	430 430	1,116 1,009	- 377.5	(競り)	(相対)	68

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,484	1,844	1,364	1,200	866
	B	-	1,312	1,173	1,058	836
和 去	A	2,403	2,362	2,203	1,444	-
	B	-	-	-	1,471	-
乳 雌	B	-	-	-	860	807
	C	-	-	-	825	784
乳 去	B	-	-	-	1,057	-
	C	-	-	-	1,021	-
交 雌	B	-	1,717	1,483	1,410	-
	C	-	-	-	1,341	-
交 去	B	-	1,729	1,605	1,450	-
	C	-	1,602	-	1,378	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	646	645	648	548	536
	安値	572	540	508	464	324
	平均	591	559	551	528	470
	頭数	(9)	(275)	(372)	(183)	(170)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 11月27日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,623	2,352	2,118	-	-
(頭数)	(12)	(3)	(2)	(1)	(-)
B	-	-	2,022	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(1)	(-)
和 去 A	2,643	2,264	2,056	-	-
(頭数)	(44)	(10)	(1)	(-)	(-)
B	2,258	2,149	-	-	-
(頭数)	(1)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,729	1,526	-	-
C	-	-	-	1,466	-
交雑去 B	1,991	1,764	1,610	1,448	-
C	-	-	1,580	1,297	-
豚	-	610	587	552	483

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	11月27日	11月26日	(11月累計)
豚	69,900	69,700	1,239,500
成牛計	5,340	5,190	90,940
和牛雌	1,350	1,220	23,160
和牛去勢	1,590	1,570	24,540
乳牛雌	870	690	13,430
乳牛去勢	530	530	9,310
交雑雌	450	550	9,570
交雑去	510	630	10,720

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月27日

	1,513円	(前日 1,535円)
東京		
	1,534円	(前日 1,602円)
大阪		

[豚・全農建値] 11月27日

上	中	取引頭数	市況
558円	544円	1,036頭	もちあい

と畜 売買	牛 125頭 牛 129頭	豚 88頭 豚 75頭	牛概況 豚概況	もちあい 続落
----------	------------------	----------------	------------	------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月27日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	572 (572)	- (-)	6,015	-	もちあい
仙台 [中]	553 (535)	480 (485)	593	18	反発
宇都宮 [地]	563 (-)	532 (-)	1,835	76	急反発
茨城 [地]	570 (566)	551 (545)	1,112	650	続伸
群馬 [地]	564 (564)	496 (507)	2,362	430	もちあい
さいたま [中]	553 (556)	540 (540)	324	324	弱もちあい
東京 [中]	559 (559)	551 (546)	1,116	1,009	もちあい
横浜 [中]	564 (560)	541 (537)	649	645	反発
山梨 [地]	622 (634)	540 (621)	183	145	反落
浜松 [地]	545 (546)	477 (476)	246	32	もちあい
名古屋 [中]	584 (594)	564 (586)	973	238	下落
京都 [中]	- (618)	- (594)	-	-	休市
大阪 [中]	610 (644)	587 (597)	88	75	続落
神戸 [中]	- (593)	- (601)	144	-	-
岡山 [地]	691 (693)	644 (641)	276	318	もちあい
広島 [中]	600 (599)	563 (552)	105	68	もちあい
福岡 [中]	596 (600)	552 (566)	428	130	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月20日～11月26日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,808,733 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,150	1,187	1,242	1,187	87,820
うで	702	767	821	765	160,471
ロース	998	1,112	1,166	1,101	157,894
ばら	1,148	1,283	1,331	1,280	175,490
もも	743	766	802	766	229,910
ヒレ	1,134	1,163	1,273	1,171	12,674
セット	896	1,017	1,061	993	984,474

◇近畿圏 総重量 840,810 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,166	1,284	1,338	1,277	73,410
うで	670	735	810	740	137,791
ロース	1,015	1,146	1,199	1,128	116,631
ばら	1,245	1,282	1,328	1,282	153,621
もも	704	734	767	734	183,689
ヒレ	1,080	1,178	1,388	1,205	13,477
セット	858	989	1,076	977	162,191

[食鳥正肉日経相場] 11月26日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	659	709	818	181
ムネ	364	399	502	163

◇大阪 (3社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	670	740	1,010	12
ムネ	375	427	570	6

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月26日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	26日分は29日掲載				
安値					
平均					

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉に関する**最新**のニュースを、どこよりも**早く**お届け!

日刊食肉速報

2024年11月、リニューアル!

A4版にリニューアルして更に見やすくなりました。

また、紙媒体だけでなく、新設されたWEBページでいつでも手軽に情報チェックが可能に。

食肉関連の行政、業界の動向をはじめ、国産と輸入の相場市況、企業情報など、これからも鮮度の高い日々の業界ニュースをお届けいたします。

紙媒体

A4版に
サイズUP!



**WEB
サービス版**

手軽に情報チェック!
バックナンバーも
探しやすい!



購読料は
そのまま!



仕様 | 11ページ
〈表紙〉カラー 〈中面〉モノクロ

発行 | 月曜から金曜(祝祭日を除く)

購読料 | 1カ年 82,080円(税・送料込)
6カ月 42,120円(税・送料込)

*写真はイメージです。

広告スポンサー募集

日刊だからこそ、効率的なタイミングでPR!

業界紙として70年の歴史をもつ信頼性の高い本紙にて、広告を出しませんか?
広告サイズは幅広く対応可能です。ぜひ、貴社のビジネスにお役立てください。

イベント情報など
スポット告知に最適

ターゲットを絞った
訴求力の高さ

70年の歴史をもつ
信頼性の高い業界紙

● 購読・広告掲載に関するお問い合わせ ●

東京支社 ☎03-3663-2011 ✉mail@shokuniku.co.jp

株式会社 食肉通信社